

令和3年度 第3回国立大学法人島根大学学長選考会議<議事要録>

日時： 令和3年7月16日(金) 14:00~15:52

場所： 本部棟5階 大会議室(対面及びWeb会議)

出席者： 大西議長、有澤委員、秦委員、高塩委員、谷口委員、大矢委員、丸橋委員(法文学部長)、加藤委員(教育学部長)、磯村委員(人間科学部長)、鬼形委員(医学部長)、伊藤委員(総合理工学部長)、川向委員(生物資源科学部長)

欠席者： なし

オブザーバー： 千家監事

陪席者： 藤田理事、長澤理事、総務部長、総務課長、総務課係長

議題

1. 学長の業務執行状況の確認について

議長から、学長選考会議規則第3条及び学長の業績評価の実施に関する申合せ第3条の規定に基づき、学長選考会議が行うべき学長の業務執行状況の確認について説明があった。

続いて、学長から令和2年度における業務執行状況の概要等についてヒアリングを行い、各委員との間で次の通り質疑応答があった。

(○委員からの質問事項 ●学長の回答)

○学内関係者の大学運営に対する理解を得るために実施した内容及び成果について

●昨年度は学長通信を4回発信し大学運営に対する考えをアナウンスした。各学部の教授会の場を借りて教員との意見交換を行った。各学部長とは月1回連絡会を開催し意見交換を行った。

○工学系新学部の設置構想について

●総合理工学部がある中で工学部を作る意味合いや差別化はしっかりと考えて実施していく。大学院、社会実装までを見据え、地域産業の振興や優秀な学生を集めての人材育成を行い、島根県の創生に貢献する学部を創りたい。

○へるん入試の志願者確保に向けての対策について

●入試の狙いをよりしっかりと高校生に説明して受験生を増やしていきたい。

○1000時間体験学修のコロナ禍における実施状況について

●教育学部で学生の派遣先と協議を行い、学生と先方が納得する形で実施されたものと理解している。

○入試改革における今後の取組について(英語力の評価、記述式の充実)

●記述式試験については前期日程試験で全ての学部、学科において実施している。英語

4 技能、特にリスニングとスピーキングについては前期・後期日程試験では実施が難しい。外部検定試験の利用もあり得ると考えるが、検討が必要である。

○新型コロナウイルス感染症への対応について

●学内の活動は少しずつ平常に戻していきたい。授業は対面を基本とし、オンライン・オンデマンドを併用して実施したい。

○学内構成員の意見を踏まえた大学運営について

●構成員の意見はお聞かせいただきたい。必要に応じ対応していきたい。教員からの要望を踏まえ、今年度の研究費については教員への配分方法を改善した。

○研究費の獲得対策及び研究分野の評価向上について

●オープンイノベーション推進本部でより多くの科研費を獲得する方法を検討している。本部長に他大学で科研費獲得に実績のある方に就任いただき、科研費獲得増加の取組を強化した。また、研究推進担当の理事の下、研究費の申請内容をフォローアップしながら複数の研究分野を組み合わせるなどにより新しいプロジェクトにつなげることも検討している。

○2つのキャンパスを抱える大学としての工夫について

●人の交流が重要であり、松江・出雲間の共同研究を進めることで共同で研究ができる教員を増やしてキャンパス間の距離感を解消したい。

引き続き、千家監事から、学長の業務執行状況に対する意見聴取を行い、千家監事から次の通り説明があった。

1. 令和2事業年度の監査結果（監査報告書の記載事項）より

(1) 「本学の業務が、法令等に従って適正に実施されているかどうか」について

現在、本学の業務において法令等に違反する重大な事実はなく、総じて言えば、本学の業務は法令等に従って適正に実施されていると認める。

(2) 「本学の業務が、中期目標の着実な達成に向け効果的かつ効率的に実施されているかどうか」について

総じて言えば、本学の業務は中期目標の着実な達成に向け効果的かつ効率的に実施されているものと認める。

(3) 「内部統制システムの整備及び運用」について

総じて言えば、本学の内部統制システムの整備及び運用について、指摘すべき重大な事項は認められない。

(4) 「本学の役員の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令等に違反する重大な事実があったときは、その事実」

本学の学長及び理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令等に違反する重大な

事実はない。

2. その他学長の業務執行の状況について

今年度で開催した学長・監事懇談会において、あるいは、監事の日常的な活動を通じて、学長の業務執行に関して特に問題とすべき事項は認められない。

議長から、ヒアリング結果等を踏まえ、学長の業務執行状況の確認結果の原案について説明があり、審議の結果、一部文言を修正したうえで議決した。